

荷物をもつ手が、
子どもとつなぐ手になりました。



旅行を快適に楽しんでいただくために、
三重県伊勢市で「手ぶら観光サービス」を進めています。

伊勢神宮の内宮前で写るのは、この地を初めて訪れたディクソンさん一家。
ここから数キロ離れた伊勢市駅で、大きなキャリーケースを

ヤマト運輸が受付する手荷物預かり所に預けてくださいました。
お預かりした荷物は、一家が宿泊するホテルに夕方頃お届けします。

「荷物を気にせず、子どもたちと手をつないで観光できるわ」とお母さん。
手ぶらで伊勢を楽しんでいただけそうです。

実はこの「手ぶら観光サービス」は、伊勢市駅にあった
手荷物預かり所がなくなるという危機から始まったものでした。

伊勢に来てくださるお客さまのために。

そして、もっと自由に日本の旅行を満喫していただけるように。

手荷物預かり所の閉鎖が決まったのは、

神宮最大のお祭りである式年遷宮が翌年に迫っていたときでした。

駅のロッカーはいつも埋まっており、

このままでは遠方からいらつしやる方にご不便をおかけしてしまいます。

そこで伊勢市と伊勢市観光協会とヤマト運輸が連携して、

閉鎖した翌月、新たな手荷物預かり所をスタートさせました。

そのとき新しく加えたのが「ホテルへの配送サービス」です。

それは、伊勢を巡ったあとに鳥羽や志摩方面へ向かう方も多く、

荷物を取りに戻らずに、快適な観光の時間をふやしていただくためのアイデアでした。

このプロジェクトを担当するヤマト運輸の内山課長と大山支店長は、

「お客さんにラクだわあ、と喜んでもらえるところもうれしくなります」と

と顔をほころばせながら言います。

手ぶらで足取りも軽くなって訪れるエリアが広がれば、

地域の活性化にもつながることができそうです。

今後は、配送の手続きをもっと簡単にし、

海外からのお客さまにとってもより安心して使いやすい環境を整えていきます。

空港で荷物を預けて、そのまま観光地に向かうことができたり、

旅程に合わせてホテルからホテルへ荷物を移動できるなど、

手ぶらで日本を満喫できるサービスをさらに拡充していきます。

宅急便が生まれて40年。

これからも、お客さまのために進化しつづけます。

私たちが目指していること。

仕事のやりがいを感じること。

それはお客さまに喜んでほしい。このことに尽きます。

時代が変わっても、地域が変わっても、変わることはない想いです。

すべての進化は、お客さまのために。

これからの必要とされるサービスをお届けし、

暮らしのお手伝いができると思います。

私たちは人に会いに行き、地域に密着して働くことができるのだから、

ヤマト運輸16万人が丸となって支えるネットワークで、

お預かりした荷物を大切に確実にお届けします。

そして今日も、クロネコヤマトは新年を迎えたあなたのまへへ。



ヤマト運輸のネットワークで
手荷物預かり及びホテルや空港
への当日配送を提供しています。



ヤマト運輸